

2.3 事業概要図

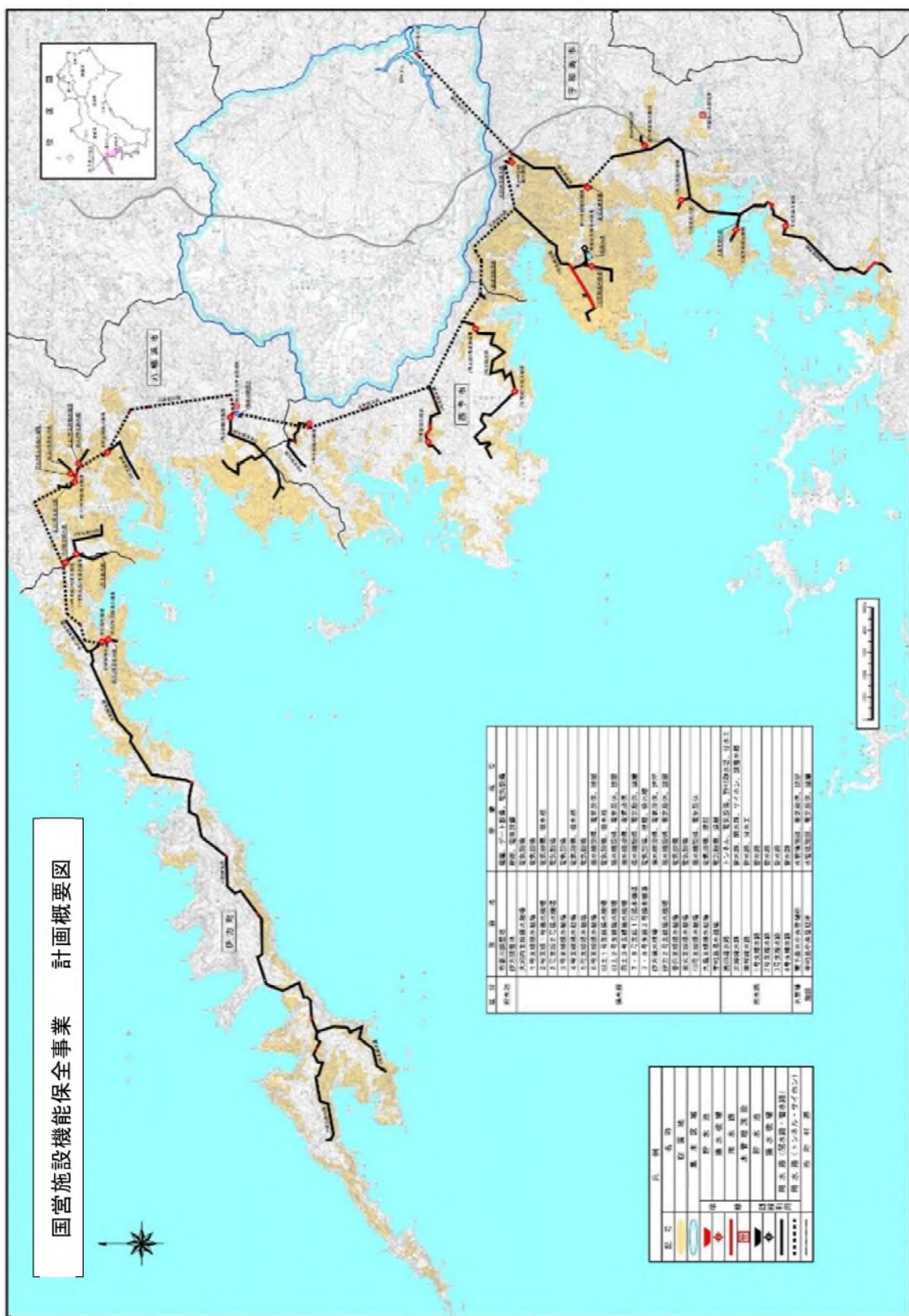


図 2.1 国営施設機能保全事業 計画概要図

2.4 営農状況

関係市町では、本事業により安定供給される農業用水を活用し、果樹園が急峻な地形であるという厳しい労働条件にもかかわらず、かんきつ類の安定生産を実現し、かんきつ王国愛媛を支える生産団地を形成している。

2.4.1 主な推奨作物

(1) 関係市町で認定されている「愛」あるブランド産品（うちかんきつ類）

愛媛県では、えひめ愛フード推進機構により愛媛の農林水産物統一キャッチフレーズ「愛媛産には、愛がある。」を基本コンセプトとし、安全・安心（人と環境への愛）、品質（産物への愛）、及び産地・特産（ふるさとへの愛）の三つの『愛』を持つ優れた愛媛県産農林水産物及び加工食品を、「愛」あるブランド産品として認定している。

関係市町における「愛」あるブランド産品（うちかんきつ類）は以下のとおりである。

南予地域の共同選果部会（以下「共選」という。）が、J Aごとに設定した糖度の高さや酸度の低さを満たす、最も階級の高いみかんを、特選箱として高級感のある黒箱に入れて出荷している。各共選ごとに商品や出荷先が異なるため、販売における棲み分けもできている。

市町名	「愛」あるブランド産品（うちかんきつ類）
宇和島市	愛媛Queen スプラッシュ、宇和島ブラッドオレンジ、甘平、紅まどんな、美柑王、弥生紅
八幡浜市	愛媛Queen スプラッシュ、 ^{みつ} 蜜る（デコボン）、甘平、紅まどんな、日の丸千両、 ^ま 雛の里、 ^ま 真穴みかん、味ピカ、媛美月、濱ノ姫、蜜る（温州みかん）、蜜る（伊予柑）、蜜る（清見）、弥生紅
西予市	愛媛Queen スプラッシュ、甘平、ニューサマーオレンジ、紅まどんな、 ^{しず} 零る（清見）、弥生紅
伊方町	愛媛Queen スプラッシュ、甘平、紅まどんな、 ^{ひめのたくみ} 媛匠、弥生紅



愛媛 Queen スプラッシュ



宇和島ブラッドオレンジ



甘平



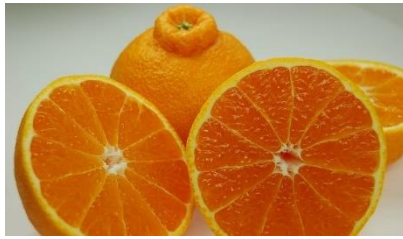
紅まどんな



美柑王



弥生紅



蜜る (デコポン)



日の丸千両



雛の里



真穴みかん



味ピカ



媛美月



濱ノ姫



蜜る (温州みかん)



蜜る (伊予柑)



蜜る (清見)



ニューサマーオレンジ



零る (清見)



媛匠(ひめのたくみ)

資料：『愛』あるブランド産品（えひめ愛フード推進機構HP）

2.4.2 先進的事例等

(1) 愛媛県及び関係市町のかんきつ類生産量

愛媛県はかんきつ類の生産量において全国有数の生産地であり、令和4年産温州みかんの収穫量は109,300 tで、和歌山県に次いで第2位となっており、全国収穫量の16%のシェアとなっている。

温州みかん以外のかんきつ類合計の収穫量では、令和2年産において愛媛県の収穫量は80,438 tで、全国1位となっており、全国収穫量の28%のシェアとなっている。

本地区の関係市町は、温州みかん（県内シェア85%）、ポンカン（県内シェア85%）、不知火（県内シェア64%）等多くの品種で県内上位を占めており、かんきつ類の生産量が全国有数の愛媛県において、その屋台骨を担う一大産地である。

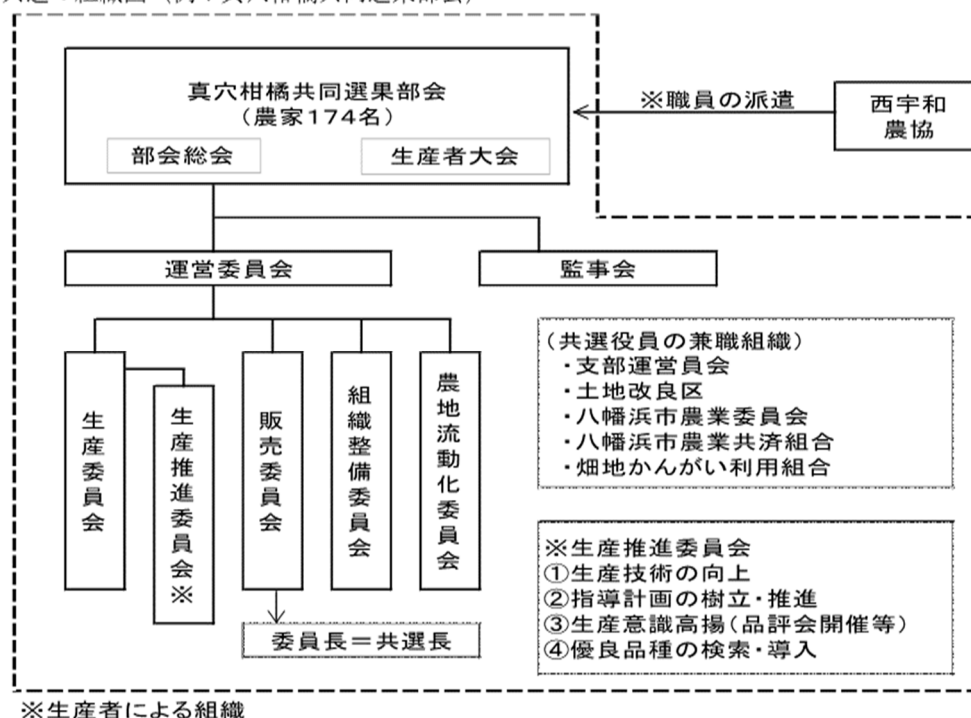
(2) かんきつ類生産地を支える「共選」システム

本地区にある「共選」（現在12組織）は、多数の小規模な家族経営が強固に結束し、主体的・戦略的な生産・販売に取り組む、この地域にしか見られない特有の組織となっている。

共選は、各地区の選果場を核として生産者自身が運営しており、それぞれの共選において、奨励品種の決定や計画的な生産、生産者への栽培指導等による技術の高位平準化を行い、市場への供給力（品質、量）を確保している。また、戦略的な販売促進活動や、将来をにらんだ新品種の導入や担い手の育成、農地の利用調整など、多岐にわたる役割を担い、産地づくりを牽引してきている。

また、各共選が自らの強みを見極めつつ、競い合って、生産と販売の両面からブランドの確立に取り組んでいる。

○共選の組織図（例：真穴柑橘共同選果部会）



資料：農林水産省世界農業遺産・日本農業遺産『愛媛・南予の柑橘農業システム』地域概要書

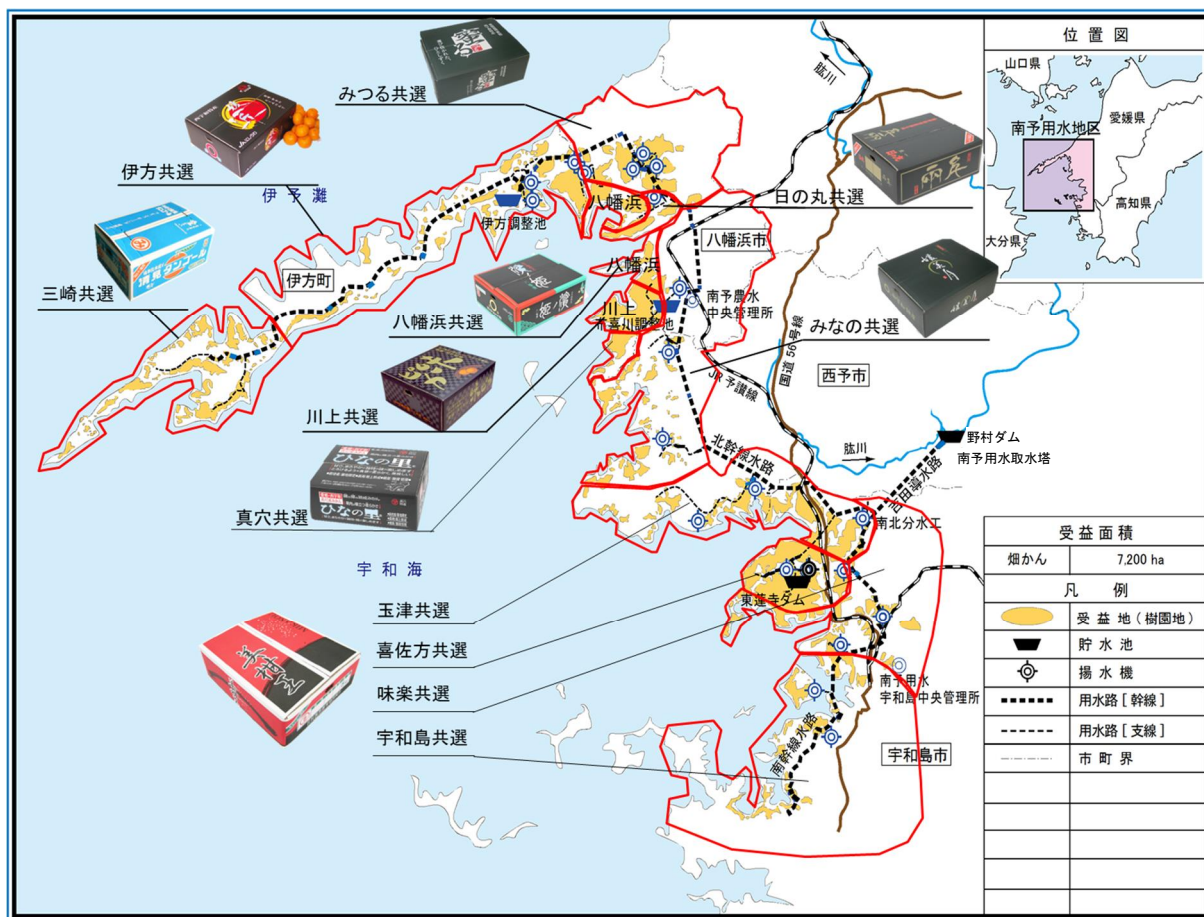


図 2.2 本地区における共選と各共選のブランド品

参考資料：農林水産省世界農業遺産・日本農業遺産『愛媛・南予の柑橘農業システム』地域概要書

(3) 真穴のみかん

① 地区の概要

国営事業及び関連事業により、園地へ必要な水が安定供給されることにより、干ばつ被害の大幅な軽減や、農作業の省力化を実現し、新たに導入した光センサー選果機により品質管理を行っている。また、収穫におけるみかんアルバイター制度を確立し、若年層を中心とした繁忙期の労働力を確保。「真穴みかん」のブランドを維持し、高単価を誇る日本屈指のみかん産地を形成している

○位置

愛媛県八幡浜市（特定農山村等）



○傾斜

・平均 15° 程度

○栽培作物

・みかん

○主な支援施策

- ・農地保全整備事業
- ・国営かんがい排水事業
- ・県営かんがい排水事業
- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・強い農業づくり交付金 等

② これまでの経緯と取組状況

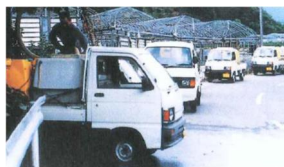
【前歴事業による整備前】

戦後直後、大阪市場から東京市場へ転進し昭和30年代には真穴ブランドを確立した。しかし急傾斜であるためかんがい施設がなく、トラックで何度も水を運び手散布によりかん水していた。昭和42年大干ばつに見舞われた際には250億円の被害。（南予地域全体）

【前歴事業による整備後】

スプリンクラーの共同活用による防除及びかん水によって、大幅な労力の軽減が図られるとともに、天候に左右されない果樹生産が実現した。

基盤整備



取水を待つトラックの列
(イメージ)



果樹園手がけ防除
(イメージ)

(S49年
～
H15年)



国営事業で整備された調整水槽



スプリンクラーによるかん水

かん水施設の導入によるみかんの品質の安定・営農労力の軽減

生産

- スプリンクラーによるかん水、防除が可能。
- アルバイター制度
 - ・宿泊所「マンダリン」(H27年～R5年) 利用者47名
 - ・ホームステイ等32名(H6年度) → 約150名(H27年度)

加工・流通

- 真穴共選（光センサー・選果機及び目視）による品質管理
- ・糖度・酸度のほか傷果などの果実の外観も判断が可能



光センサー選果機

選果場：経営高度化対策事業(H13年～H14年) 13億1千万円
センサー更新：産地再生緊急整備事業(H24年) 3億5千万円

担い手

- 新規就農者23名(H27年～R4年)
- 若手農業者からなる同志会を設立
 - ・営農技術の情報交換や担い手技術の継承

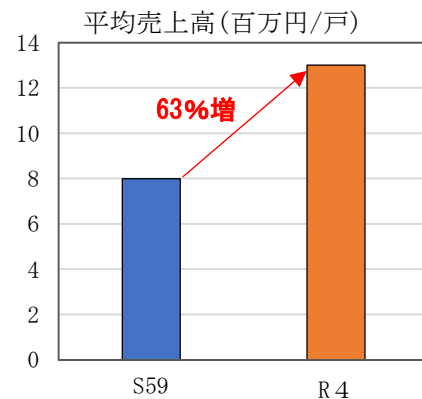
基盤、生産、加工・流通、担い手の取組を通じて、「真穴みかん」のブランドを維持



地域ブランドの確立等により、約40年間で平均売上高が約63%増。

【平均売上高】

約8百万円/戸(S59年)
→約13百万円/戸(R4年)



③ マルチドリップかんがい施設の整備

真穴地区では、令和3年度から農地耕作条件改善事業を活用して、マルチドリップかんがい施設の整備を行っている。園地でのきめ細やかな水管理が行えるよう令和5年度までに約20ha整備されており、意欲ある担い手の所得向上につながる取組として、今後も整備面積が拡大する予定である。



資料：「愛媛の農業農村整備の取組」（愛媛県農地整備課）

（４）スマート農業への取組

本地区の主要な受益地である西宇和地域では、令和元年から「未来型柑橘生産に向けたAI等先端技術の導入によるスマート営農体系の実証」事業に取り組み、令和3年にはJAにしうわ、愛媛県等の関係機関、実証農家等で構成する「西宇和スマート農業推進協議会」を設立しスマート農業への取組を進めている。

この取組を通して、本地域の土地条件に応じた栽培技術、栽培管理ができる環境を構築することで、栽培技術の向上、平準化を図り、産地の生産力を強化していくこととしている。

① ほ場環境モニタリング技術の実証

ほ場に気象ロボットを設置して、気温、雨量、日射量、土壌水分量等を測定し、クラウドシステムにデータ集積し、スマートフォンでモニタリングしたデータを基にかん水、施肥などを最適管理する実証を行っている。その結果、平成30年と令和2年対比で、温州みかんの単収は14%増加している。

また、実証農家に、マルチドリップ栽培での遠隔自動かん水システムを整備し、スマートフォンから、かん水開始、液肥混入の遠隔操作が可能となっている。

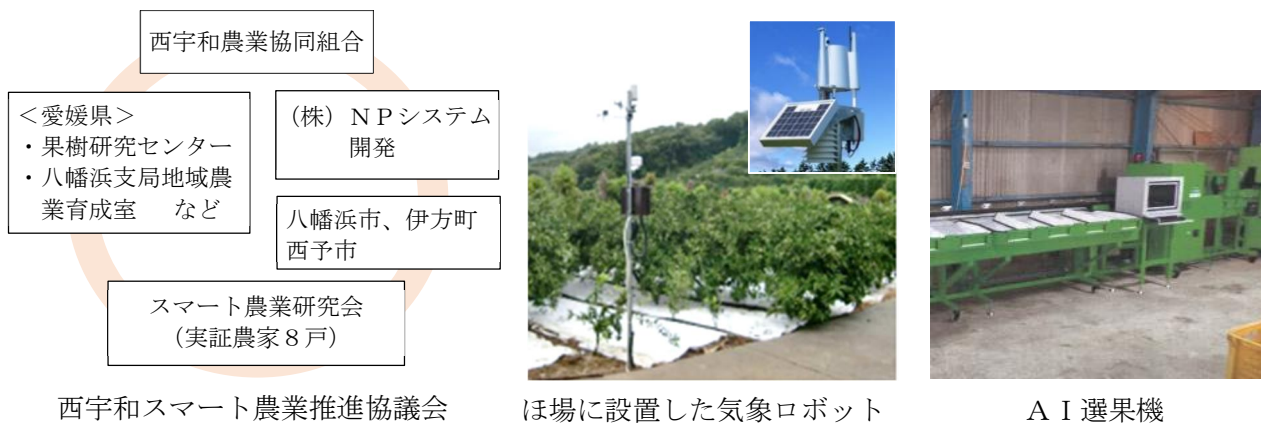
② A I 選果機による労働力削減効果の実証

収穫後のかんきつ類の一次選果（粗選果）作業について、A I 選果機を導入し、外観品質、腐敗、生傷等の被害果の判定を自動化して、労働力削減を図ることを目的に実証を行っている。その結果、標準の家庭選果時間 18 時間/10 a に比べ 4.2 時間/10 a と労働力が大幅に削減されている。

③ 経営・栽培管理情報の「見える化」の実証

栽培技術の平準化を図るために、クラウドシステム「We b-W a t c h e r」により、環境モニタリング（土壌水分量等）、作業記録（作業時間等）、選果実績（等級階級別出荷量等）のデータを集積し、スマートフォンやパソコンで情報共有できるシステムの活用する実証を行っている。

その結果、令和元年と令和 4 年対比で、労働時間が 10 a 当たり 30% 軽減され、収益性は 10 a 当たり 26% 増加している。



資料：「愛媛県スマート農業推進方針」（令和 5 年 3 月愛媛県スマート農業推進協議会）
「スマート農業プロジェクトについて」（農林水産省 HP）

(5) 株式会社玉津柑橘倶楽部の取組

愛媛県宇和島市の玉津地区は、平成 30 年 7 月の西日本豪雨により被災し、約 80ha の園地の崩壊など、甚大な被害を受けた。この被災をきっかけに、若手みかん農家 10 名で「株式会社玉津柑橘倶楽部」を設立し、営農やみかん販売などを通して、地域貢献や「玉津みかん」ブランドの向上に取り組んでいる。

設立の背景

宇和島市玉津地区では、「みかん」とともに半世紀、美味しいものを作り上げるという信念のもと、かんきつ栽培が行われている。また、生産者約 180 戸のうち 40 歳代以下の後継者が 45 名ほどの活気あふれる産地である。

そんな中、西日本豪雨による園地の崩落等でかんきつ類の出荷ができないほどの被害を受けた。若手農業者は、以前から園地の管理を請け負い、みかん産地を守れないかと話し合っていたところで、豪雨災害を契機に、平成 30 年 10 月に株式会社玉津柑橘倶楽部を設立し、玉津地区の復旧、復興等への取組を開始した。



主な事業内容

現在、同社は販売と営農を事業の柱としている。その構成員 19 名が生産したみかんは、玉津地区のみかんが集まる J A 共選場へ出荷する一方、同社が販売を行うみかんやジュースの原料は J A 共選場から購入しており、玉津地区全体の販売額の向上に寄与している。

また、みかんジュースなど加工品の製造と販売を手掛けるほか、SNS や、イベントなどへの参加を通じて、玉津みかんをより多くの消費者へ認知してもらうよう広報活動に取り組み、「玉津みかん」ブランドの周知・確立に貢献している。



営農支援

みかん産地の維持には、地区外からの移住者の受け入れも重要との考えから、同社で就農希望者を受け入れて、園地の斡旋や栽培技術の習得等を支援。これにより 1 名がみかん農家として独立し、同社の構成員になっている。

また、同社では老木園の改植等で必要になる大苗育苗担い、安価で販売している。1 年生苗をポットで 1 年育成して 2 年生苗として販売すれば、みかん農家にとっては植え傷みの軽減、未収益期間の短縮などの効果があり、年間約 1,500 本を育成することで玉津地区のかんきつ栽培を支えている。



※写真は株式会社玉津柑橘倶楽部提供

3. 関連事業の進捗状況

3.1 採択状況

該当なし

3.2 総事業費ベースの進捗状況

該当なし

4. 社会経済情勢の変化

4.1 人口・世帯数の推移

関係市町の人口、世帯数は、ともに減少傾向であり、減少幅は愛媛県より大きくなっている。

関係市町の人口は、平成22年（2010年）の175,542人から令和2年（2020年）の146,581人へと、10年間で28,961人（16%）減少している。

愛媛県全体でも、平成22年（2010年）の1,431,493人から令和2年（2020年）の1,334,841人へと、96,652人（7%）減少しており、同様の傾向となっている。

関係市町の世帯数は、同期間で71,870世帯から65,416世帯へと6,454世帯（9%）減少しているが、愛媛県全体は590,888世帯から601,402世帯へと10,514世帯（2%）増加している。

また、市町別の特徴としては、全ての関係市町が人口、世帯数ともに減少しており、特に伊方町は減少幅が大きくなっている。（表4.1、図4.1、図4.2参照）

表 4.1 人口及び世帯数の推移（関係市町、愛媛県）

市町名		実 数		2010年を100とした指数		備 考
		人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口	世帯数	
2010年 (平成22年)	宇和島市	84,210	34,041	100	100	
	八幡浜市	38,370	15,849	100	100	
	西予市	42,080	17,096	100	100	
	伊方町	10,882	4,884	100	100	
	関係市町 合 計	175,542	71,870	100	100	
	愛媛県	1,431,493	590,888	100	100	
2015年 (平成27年)	宇和島市	77,465	32,732	92	96	
	八幡浜市	34,951	14,995	91	95	
	西予市	38,919	16,365	92	96	
	伊方町	9,626	4,488	88	92	
	関係市町 合 計	160,961	68,580	92	95	
	愛媛県	1,385,262	591,972	97	100	
2020年 (令和2年)	宇和島市	70,809	31,452	84	92	
	八幡浜市	31,987	14,413	83	91	
	西予市	35,388	15,474	84	91	
	伊方町	8,397	4,077	77	83	
	関係市町 合 計	146,581	65,416	84	91	
	愛媛県	1,334,841	601,402	93	102	
2010年 との差	関係市町 合 計	▲28,961	▲6,454	▲16	▲9	人口減少・ 世帯数減少
	愛媛県	▲96,652	10,514	▲7	2	人口減少・ 世帯数増加

※平成22年、平成27年、令和2年国勢調査

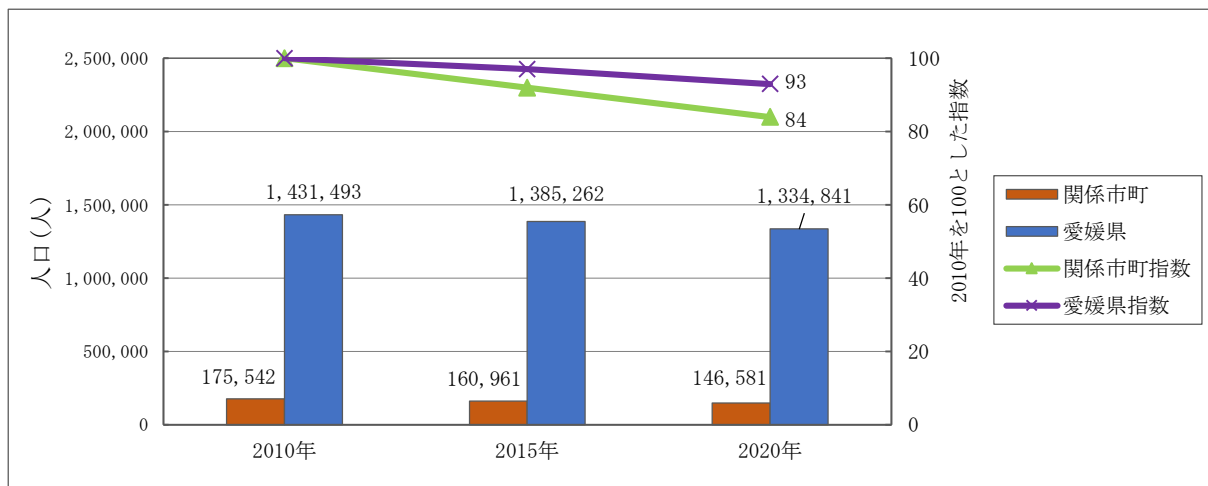


図 4.1 人口の推移と動向（関係市町、愛媛県）

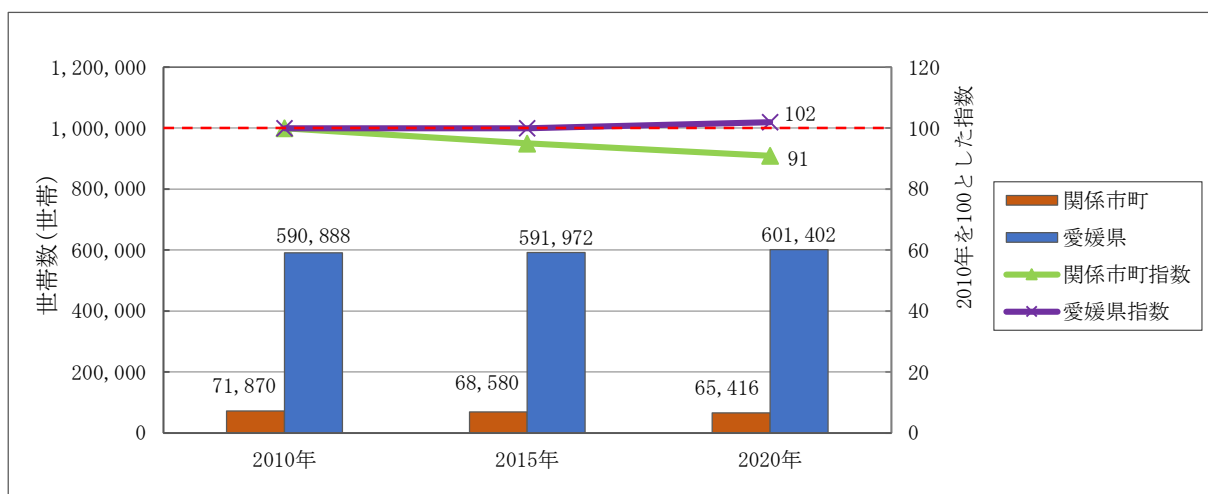


図 4.2 世帯数の推移と動向（関係市町、愛媛県）

4.2 産業別就業人口の推移

関係市町の実業人口は、平成22年（2010年）の81,042人から令和2年（2020年）の69,794人へと、10年間で11,248人（14%）減少している。愛媛県全体でも、平成22年（2010年）の651,605人から令和2年（2020年）の601,302人へと、50,303人（8%）減少しており、同様の傾向となっている。

また、関係市町の農業就業人口は、平成22年（2010年）の13,228人から令和2年（2020年）の10,677人へと、10年間で2,551人（19%）減少している。同様に愛媛県全体では、平成22年（2010年）の43,791人から令和2年（2020年）の34,536人へと、9,255人（21%）減少している。

一方、就業人口に占める農業就業人口の割合は、令和2年（2020年）では15%と、愛媛県の同割合6%に比べて高く、関係市町において農業は主要な産業のひとつとなっている。

（表4.2、表4.3、図4.3、図4.4、図4.5、図4.6参照）

表4.2 産業別就業人口（関係市町、愛媛県）

（単位：人）

年	市町名	第1次産業		第2次産業	第3次産業	分類 不能な 産業	合計
			うち 農業				
2010年 （平成22年）	宇和島市	7,534	4,795	5,336	25,015	745	38,630
	八幡浜市	3,710	3,459	3,588	10,684	226	18,208
	西予市	4,128	3,623	3,449	11,217	98	18,892
	伊方町	1,770	1,351	924	2,614	4	5,312
	関係市町合計	17,142	13,228	13,297	49,530	1,073	81,042
	構成割合	(21%)	(16%)	(16%)	(61%)	(2%)	(100%)
	愛媛県	52,430	43,791	154,858	425,321	18,996	651,605
	構成割合	(8%)	(7%)	(24%)	(65%)	(3%)	(100%)
2015年 （平成27年）	宇和島市	6,593	4,135	5,142	23,387	1,550	36,672
	八幡浜市	3,570	3,343	3,139	10,136	212	17,057
	西予市	3,802	3,400	3,159	11,000	111	18,072
	伊方町	1,556	1,221	834	2,359	4	4,753
	関係市町計	15,521	12,099	12,274	46,882	1,877	76,554
	構成割合	(20%)	(16%)	(16%)	(61%)	(3%)	(100%)
	愛媛県	47,194	39,871	148,409	416,461	30,677	642,741
	構成割合	(7%)	(6%)	(23%)	(65%)	(5%)	(100%)
2020年 （令和2年）	宇和島市	5,949	3,740	4,878	22,105	326	33,258
	八幡浜市	3,325	3,157	2,840	9,238	264	15,667
	西予市	3,123	2,776	2,766	10,136	715	16,740
	伊方町	1,275	1,004	680	2,168	6	4,129
	関係市町合計	13,672	10,677	11,164	43,647	1,311	69,794
	構成割合	(20%)	(15%)	(16%)	(63%)	(1%)	(100%)
	愛媛県	40,866	34,536	140,228	404,912	15,296	601,302
	構成割合	(7%)	(6%)	(23%)	(67%)	(3%)	(100%)
2010年 との差	関係市町合計	▲ 3,470	▲ 2,551	▲ 2,133	▲ 5,883	238	▲ 11,248
	愛媛県	▲ 11,564	▲ 9,255	▲ 14,630	▲ 20,409	▲ 3,700	▲ 50,303

※平成22年、平成27年、令和2年国勢調査

表 4.3 産業別就業人口の動向（2010 年を 100 とした指数）

年	市町名	第 1 次産業		第 2 次産業	第 3 次産業	分 類 不 能 な 産 業	合 計
			うち 農 業				
2015 年（平成 27 年）	宇 和 島 市	88	86	96	93	208	95
	八 幡 浜 市	96	97	87	95	94	94
	西 予 市	92	94	92	98	113	96
	伊 方 町	88	90	90	90	100	89
	関 係 市 町 合 計	91	91	92	95	175	94
	愛 媛 県	90	91	96	98	161	99
2020 年（令和 2 年）	宇 和 島 市	79	78	91	88	44	86
	八 幡 浜 市	90	91	79	86	117	86
	西 予 市	76	77	80	90	730	89
	伊 方 町	72	74	74	83	150	78
	関 係 市 町 合 計	80	81	84	88	122	86
	愛 媛 県	78	79	91	95	81	92
2010 年 との差	関 係 市 町 合 計	▲20	▲19	▲16	▲12	22	▲14
	愛 媛 県	▲22	▲21	▲9	▲5	▲19	▲8

※平成22年、平成27年、令和2年国勢調査

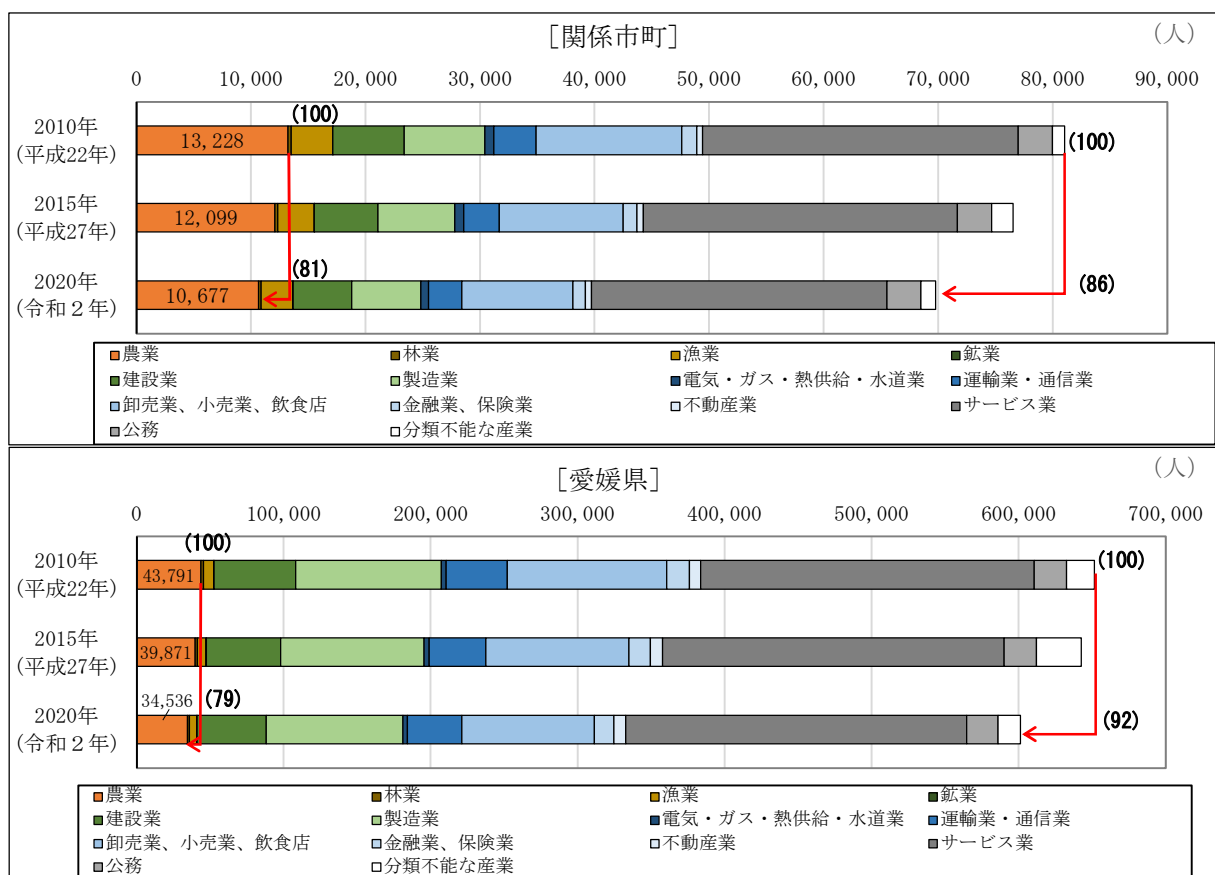


図 4.3 産業別就業人口の推移と動向（関係市町、愛媛県）

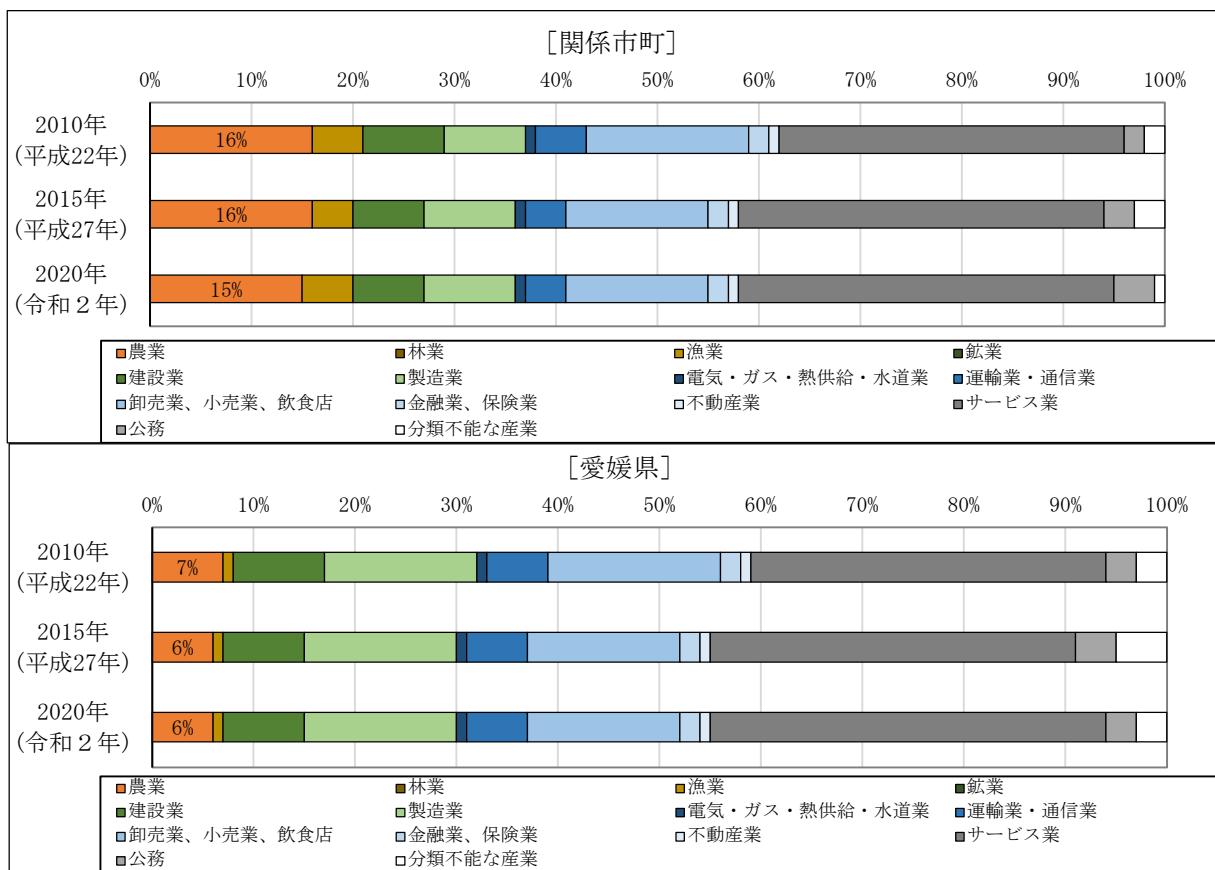


図 4.4 産業別就業人口の割合（関係市町、愛媛県）

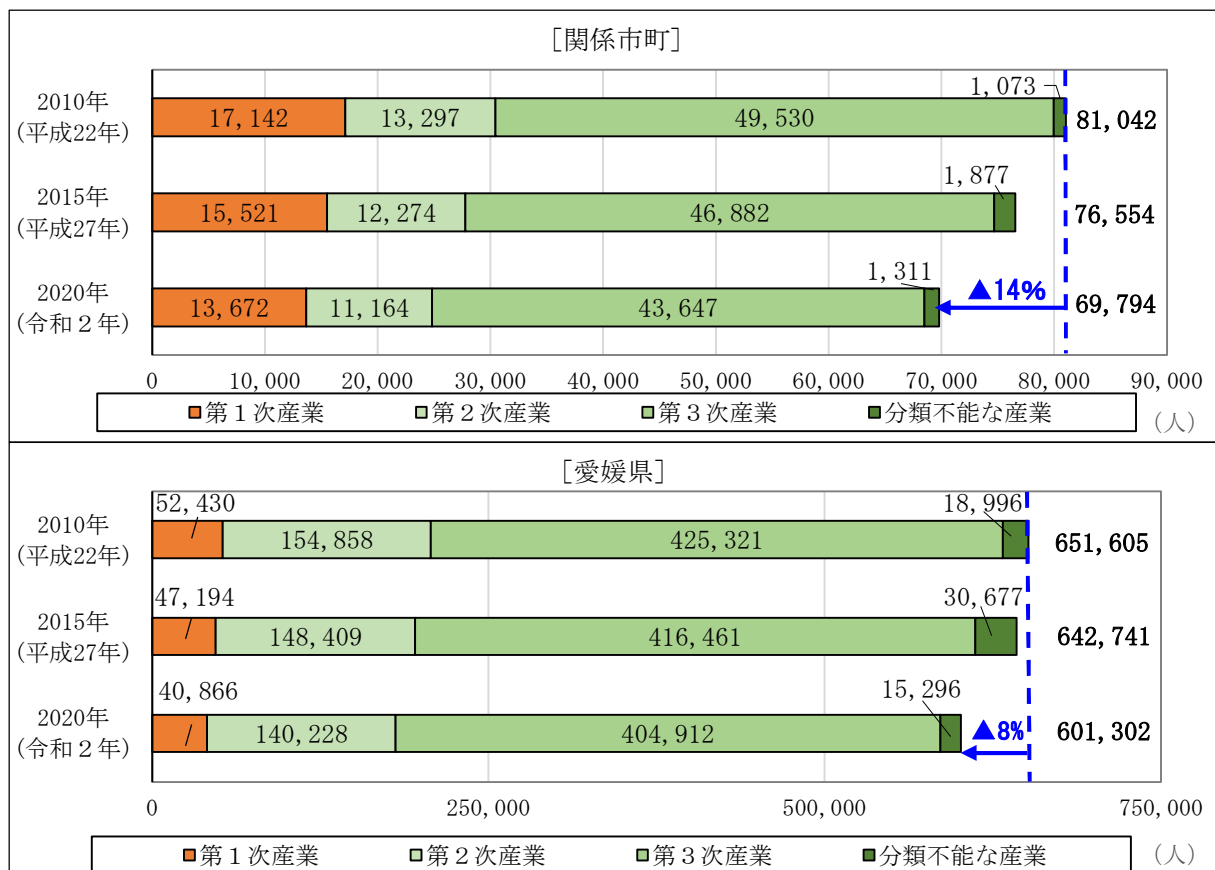


図 4.5 第1～3次産業別就業人口の推移と動向（関係市町、愛媛県）

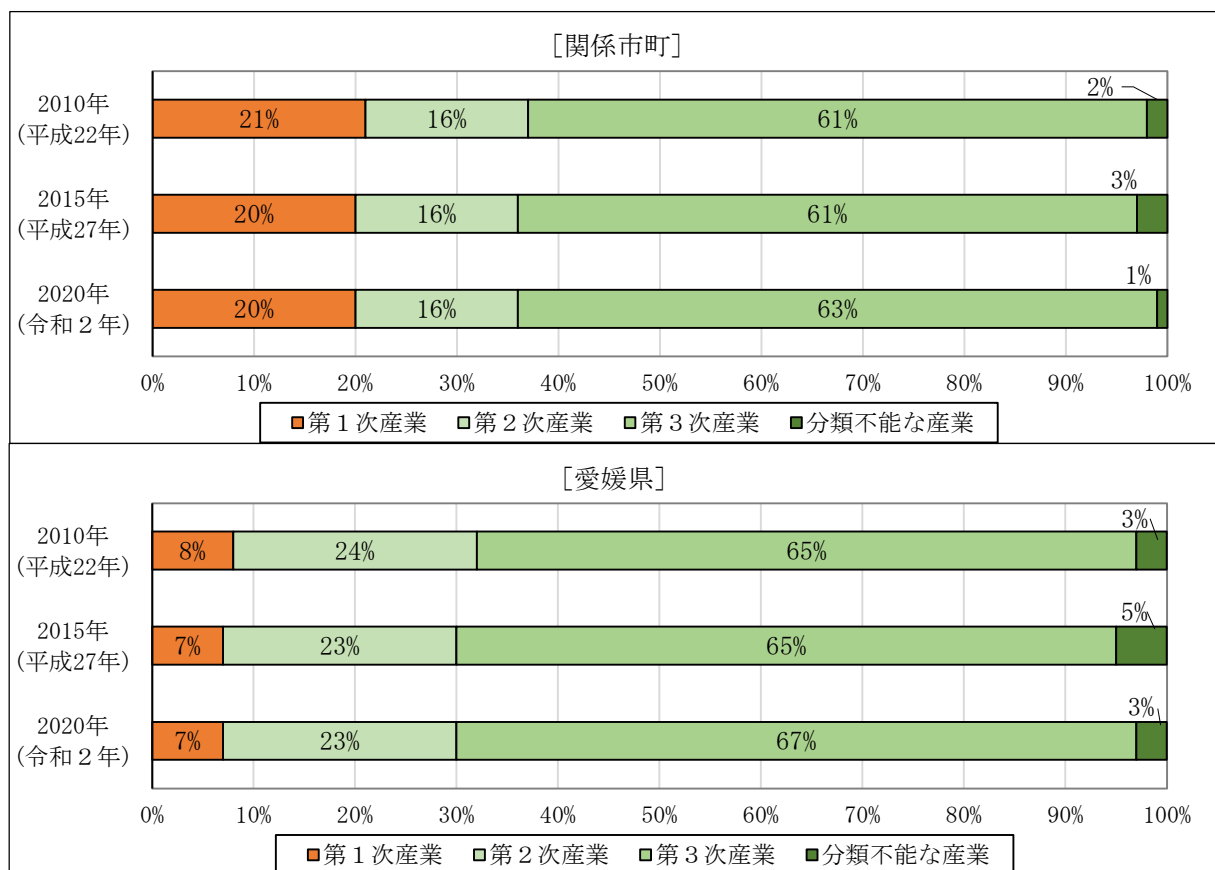


図 4.6 第1～3次産業別就業人口の割合（関係市町、愛媛県）

4.3 耕地面積の推移

関係市町の耕地面積は、平成22年（2010年）の10,805haから令和2年（2020年）の8,476haへと、10年間で2,329ha（22%）減少している。愛媛県全体でも、平成22年（2010年）の35,383haから令和2年（2020年）の26,501haへと、8,882ha（25%）減少しており、同様の傾向となっている。

また、耕地面積は減少しているものの、その構成比は同時期の10年で大きく変動はみられず、令和2年（2020年）の耕地面積に占める樹園地の構成割合は、関係市町が65%

（5,506ha/8,476ha）となっており、愛媛県全体の39%（10,474ha/26,501ha）と比べ、樹園地の比率が高くなっている。（表4.4、表4.5、図4.7参照）

表4.4 耕地面積の推移（関係市町、愛媛県）

（単位：ha）

年	市町名	耕地面積	田	畑	樹園地
2010年 (平成22年)	宇和島市	3,504	958	191	2,355
	八幡浜市	2,623	27	21	2,575
	西予市	3,594	1,806	694	1,094
	伊方町	1,084	-	43	1,041
	関係市町合計	10,805	2,791	949	7,065
	構成割合	(100%)	(26%)	(9%)	(65%)
	愛媛県	35,383	16,823	3,339	15,221
	構成割合	(100%)	(48%)	(9%)	(43%)
2015年 (平成27年)	宇和島市	3,142	916	121	2,105
	八幡浜市	2,426	24	22	2,380
	西予市	3,186	1,738	522	926
	伊方町	897	-	17	880
	関係市町合計	9,651	2,678	682	6,291
	構成割合	(100%)	(28%)	(7%)	(65%)
	愛媛県	30,623	15,190	2,869	12,564
	構成割合	(100%)	(50%)	(9%)	(41%)
2020年 (令和2年)	宇和島市	2,789	829	119	1,841
	八幡浜市	2,153	13	26	2,114
	西予市	2,782	1,536	438	808
	伊方町	752	-	9	743
	関係市町合計	8,476	2,378	592	5,506
	構成割合	(100%)	(28%)	(7%)	(65%)
	愛媛県	26,501	13,462	2,565	10,474
	構成割合	(100%)	(51%)	(10%)	(39%)
2010年 との差	関係市町合計	▲ 2,329	▲ 413	▲ 357	▲ 1,559
	愛媛県	▲ 8,882	▲ 3,361	▲ 774	▲ 4,747

※1. 2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

農業経営体データ 2020年(令和2年)農林業センサスでは、販売農家データがないことによる。

2. 愛媛県全体における耕地面積に占める樹園地の構成割合（2020年）は、端数調整のため切り下げ。

表 4.5 耕地面積の動向（関係市町、愛媛県、2010 年を 100 とした指数）

年	市町名	耕地面積	田	畑	樹園地
2015年 (平成27年)	宇和島市	90	96	63	89
	八幡浜市	92	89	105	92
	西予市	89	96	75	85
	伊方町	83	－	40	85
	関係市町合計	89	96	72	89
	愛媛県	87	90	86	83
2020年 (令和2年)	宇和島市	80	87	62	78
	八幡浜市	82	48	124	82
	西予市	77	85	63	74
	伊方町	69	－	21	71
	関係市町合計	78	85	62	78
	愛媛県	75	80	77	69
2010年 との差	関係市町合計	▲ 22	▲ 15	▲ 38	▲ 22
	愛媛県	▲ 25	▲ 20	▲ 23	▲ 31

※2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス



図 4.7 耕地面積の推移と動向（関係市町、愛媛県）

4.4 農家数の推移

4.4.1 総農家数の推移

関係市町の総農家数は、平成22年(2010年)の10,849戸から令和2年(2020年)の7,662戸へと、10年間で3,187戸(29%)減少している。

愛媛県全体でも、平成22年(2010年)の50,234戸から令和2年(2020年)の34,994戸へと、15,240戸(30%)減少しており、同様の傾向となっている。

また、関係市町の総農家数の内訳をみると、販売農家は平成22年(2010年)の7,990戸から、令和2年(2020年)の5,558戸へと、10年間で2,432戸(30%)減少し、自給的農家は平成22年(2010年)の2,859戸から、令和2年(2020年)の2,104戸へと、10年間で755戸(26%)減少している。

愛媛県全体をみると、販売農家は平成22年(2010年)の31,741戸から、令和2年(2020年)の20,639戸へと、10年間で11,102戸(35%)減少し、自給的農家は平成22年(2010年)の18,493戸から、令和2年(2020年)の14,355戸へと、4,138戸(22%)減少している。

関係市町及び愛媛県の販売農家と自給的農家の割合は、平成22年から令和2年にかけて横ばいとなっている。(表4.6、表4.7、図4.8、図4.9参照)

表4.6 総農家数の推移(関係市町、愛媛県)

(単位: 戸)

年	市町名	総農家数	販売農家数	自給的農家数	備考
2010年 (平成22年)	宇和島市	3,592	2,569	1,023	
	八幡浜市	2,036	1,732	304	
	西予市	4,093	2,781	1,312	
	伊方町	1,128	908	220	
	関係市町合計	10,849	7,990	2,859	
	構成割合	(100%)	(74%)	(26%)	
	愛媛県	50,234	31,741	18,493	
	構成割合	(100%)	(63%)	(37%)	
2015年 (平成27年)	宇和島市	3,070	2,123	947	
	八幡浜市	1,822	1,562	260	
	西予市	3,532	2,291	1,241	
	伊方町	952	746	206	
	関係市町合計	9,376	6,722	2,654	
	構成割合	(100%)	(72%)	(28%)	
	愛媛県	42,252	25,697	16,555	
	構成割合	(100%)	(61%)	(39%)	
2020年 (令和2年)	宇和島市	2,566	1,842	724	
	八幡浜市	1,576	1,350	226	
	西予市	2,804	1,770	1,034	
	伊方町	716	596	120	
	関係市町合計	7,662	5,558	2,104	
	構成割合	(100%)	(73%)	(27%)	
	愛媛県	34,994	20,639	14,355	
	構成割合	(100%)	(59%)	(41%)	
2010年 との差	関係市町合計	▲ 3,187	▲ 2,432	▲ 755	
	愛媛県	▲ 15,240	▲ 11,102	▲ 4,138	

※2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

表 4.7 総農家数の動向（2010 年を 100 とした指数）

年	市町名	総農家数	販売農家数	自給的農家数	備考
2015年 (平成27年)	宇和島市	85	83	93	
	八幡浜市	89	90	86	
	西予市	86	82	95	
	伊方町	84	82	94	
	関係市町合計	86	84	93	
2020年 (令和2年)	宇和島市	71	72	71	
	八幡浜市	77	78	74	
	西予市	69	64	79	
	伊方町	63	66	55	
	関係市町合計	71	70	74	
2010年 との差	関係市町合計	▲ 29	▲ 30	▲ 26	
	愛媛県	▲ 30	▲ 35	▲ 22	

※2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

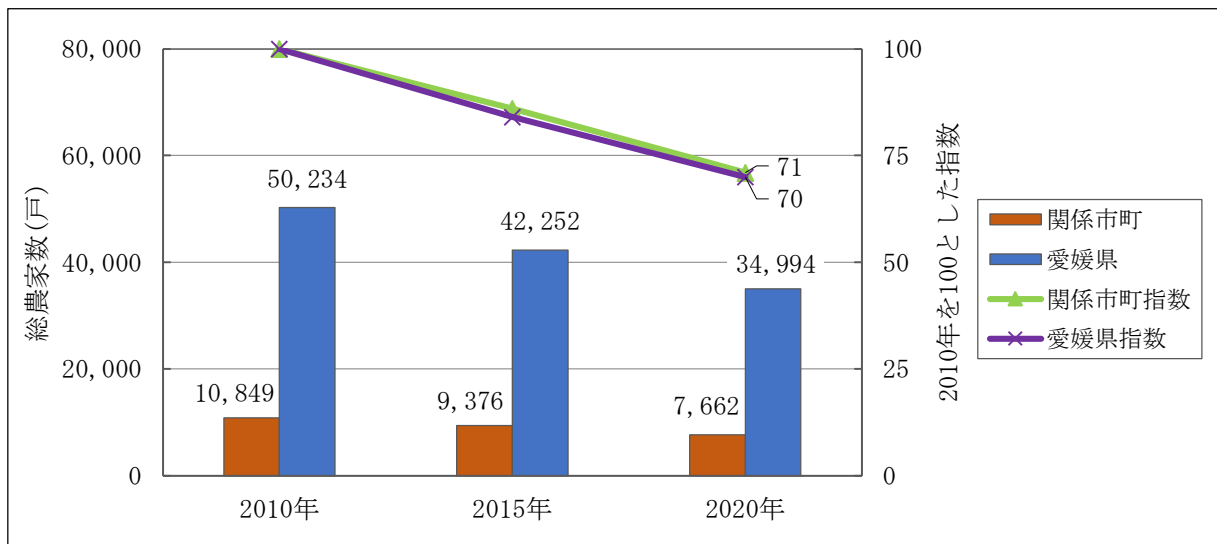


図 4.8 総農家数の推移と動向（関係市町、愛媛県）

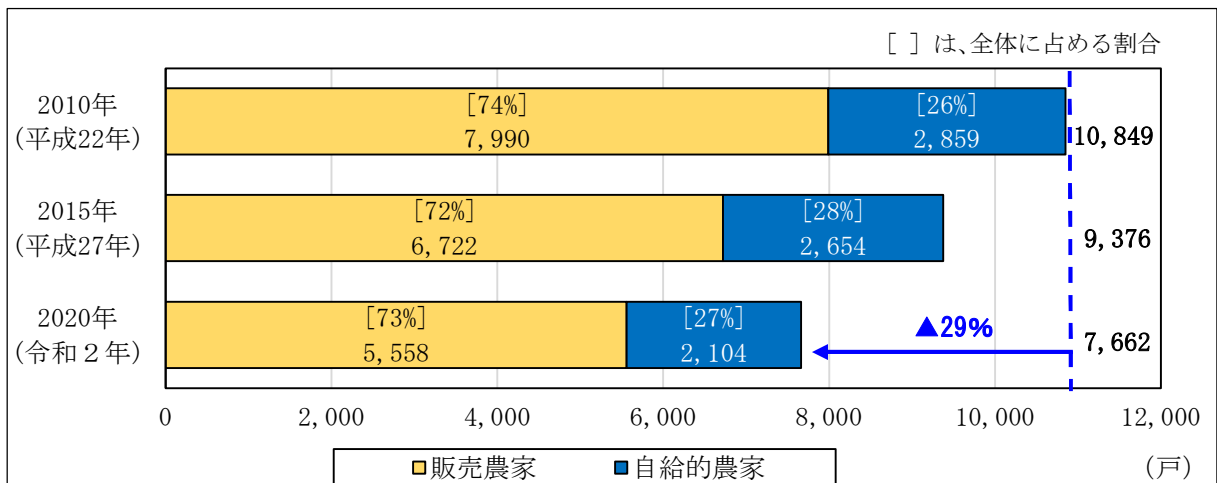


図 4.9 関係市町における総農家数の推移（2010 年、2015 年、2020 年）

4.4.2 専兼業別農家数の推移

関係市町の専業農家数は、平成22年（2010年）の3,757戸から平成27年（2015年）の3,371戸へと5年間で386戸（10%）減少している。

愛媛県全体では、平成22年（2010年）の13,654戸から平成27年（2015年）の11,952戸へと、1,702戸（12%）減少している。（表4.8、図4.10参照）

表4.8 専兼業別農家数の推移（関係市町、愛媛県）

年	市町名	農家数（戸）				2010年を100とした指数			
		販売農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	販売農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
2010年 (平成22年)	宇和島市	2,569	1,079	436	1,054	100	100	100	100
	八幡浜市	1,732	973	316	443	100	100	100	100
	西予市	2,781	1,208	288	1,285	100	100	100	100
	伊方町	908	497	100	311	100	100	100	100
	関係市町合計	7,990	3,757	1,140	3,093	100	100	100	100
	愛媛県	31,741	13,654	3,420	14,667	100	100	100	100
2015年 (平成27年)	宇和島市	2,123	927	411	785	83	86	94	74
	八幡浜市	1,562	936	301	325	90	96	95	73
	西予市	2,291	1,058	236	997	82	88	82	78
	伊方町	746	450	87	209	82	91	87	67
	関係市町合計	6,722	3,371	1,035	2,316	84	90	91	75
	愛媛県	25,697	11,952	2,678	11,067	81	88	78	75
2010年 との差	関係市町合計	▲ 1,268	▲ 386	▲ 105	▲ 777	▲ 16	▲ 10	▲ 9	▲ 25
	愛媛県	▲ 6,044	▲ 1,702	▲ 742	▲ 3,600	▲ 19	▲ 12	▲ 22	▲ 25
2020年 (令和2年)	宇和島市	1,842	2020年農林業センサス データなし (調査廃止)				72	2020年農林業センサス データなし (調査廃止)	
	八幡浜市	1,350					78		
	西予市	1,770					64		
	伊方町	596					66		
	関係市町合計	5,558					70		
	愛媛県	20,639					65		

※2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

販売農家：農家のうち、経営耕地面積が30a以上又は年間農産物販売金額が50万円以上の農家

専業農家：世帯員の中に兼業従事者が一人もいない農家

兼業農家：世帯員の中に兼業従事者が一人以上いる農家

第1種兼業農家：兼業農家の内農業所得を主とする農家

第2種兼業農家：兼業農家の内農業所得を従とする農家

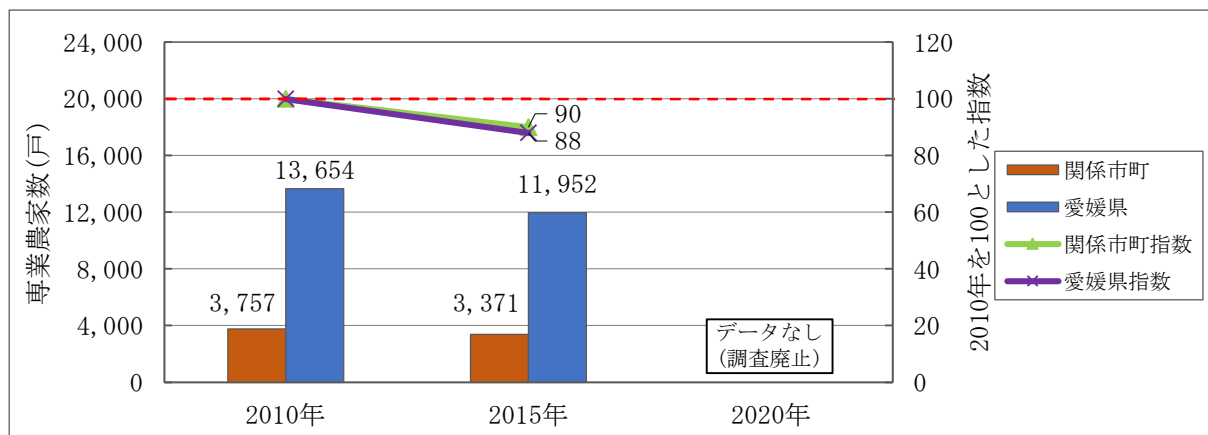


図4.10 専業農家数の推移と動向（関係市町、愛媛県）

4.4.3 農業経営体数の推移

関係市町の農業経営体数は、平成22年（2010年）の8,550経営体から令和2年（2020年）の5,940経営体へと、10年間で2,610経営体（31%）減少している。また、愛媛県全体では、平成22年（2010年）の33,177経営体から令和2年（2020年）の21,734経営体へと、11,443経営体（34%）減少している。

ただ、農業経営体数のうち法人経営体数は増加傾向にあり、関係市町の法人経営体数は、平成22年（2010年）の137経営体から令和2年（2020年）の150経営体へと、10年間で13経営体（9%）増加している。また、愛媛県全体の法人経営体数も、平成22年（2010年）の386経営体から令和2年（2020年）の462経営体へと、76経営体（20%）増加している。

（表4.9、図4.11参照）

表4.9 農業経営体数の推移（関係市町、愛媛県）

（単位：経営体）

年	市町名	農業経営体の計	法人経営	地方公共団体・財産区	法人化していない	個人経営体
2010年 (平成22年)	宇和島市	2,622	45	-	2,577	2,571
	八幡浜市	1,918	15	-	1,903	1,903
	西予市	2,944	51	-	2,893	2,867
	伊方町	1,066	26	-	1,040	1,038
	関係市町合計	8,550	137	-	8,413	8,379
	構成割合	(100%)	(2%)	(-%)	(98%)	(98%)
	愛媛県	33,177	386	1	32,790	32,710
	構成割合	(100%)	(1%)	(-%)	(99%)	(99%)
2015年 (平成27年)	宇和島市	2,201	45	-	2,156	2,149
	八幡浜市	1,690	27	-	1,663	1,663
	西予市	2,435	53	-	2,382	2,356
	伊方町	862	25	-	837	835
	関係市町合計	7,188	150	-	7,038	7,003
	構成割合	(100%)	(2%)	(-%)	(98%)	(97%)
	愛媛県	26,988	450	2	26,536	26,476
	構成割合	(100%)	(2%)	(-%)	(98%)	(98%)
2020年 (令和2年)	宇和島市	1,909	38	-	1,871	1,866
	八幡浜市	1,446	30	-	1,416	1,416
	西予市	1,891	58	-	1,833	1,812
	伊方町	694	24	-	670	669
	関係市町合計	5,940	150	-	5,790	5,763
	構成割合	(100%)	(3%)	(-%)	(97%)	(97%)
	愛媛県	21,734	462	1	21,271	21,221
	構成割合	(100%)	(2%)	(-%)	(98%)	(98%)
2010年 との差	関係市町合計	▲ 2,610	13	-	▲ 2,623	▲ 2,616
	愛媛県	▲ 11,443	76	-	▲ 11,519	▲ 11,489

※2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

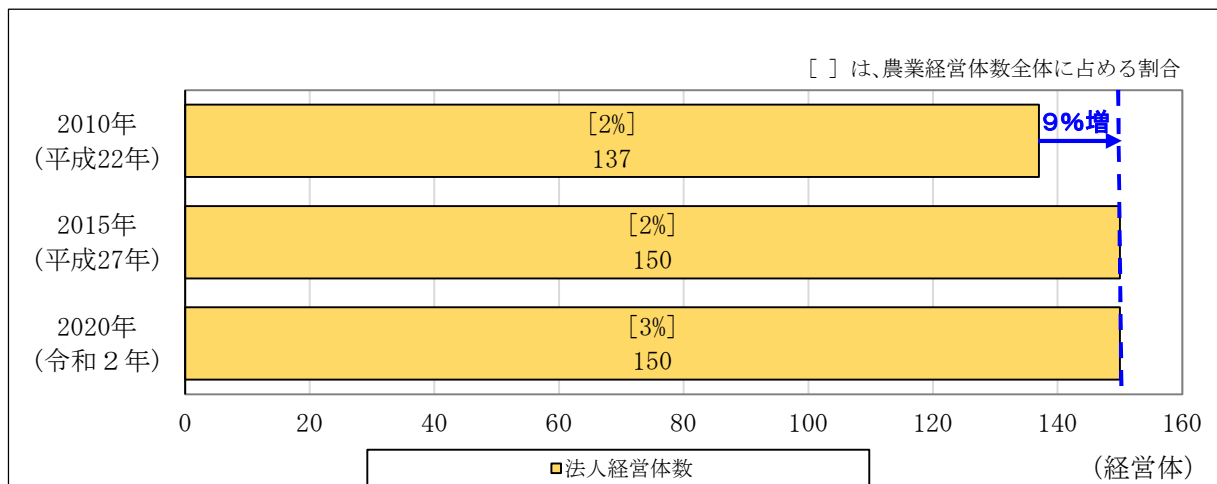


図 4.11 関係市町における法人経営体数の推移 (2010 年、2015 年、2020 年)

4.4.4 経営規模別経営体数の推移

関係市町の面積規模 5.0ha 未満の経営体は減少しているが、5.0ha 以上の経営体数は、平成 22 年（2010 年）の 96 経営体から令和 2 年（2020 年）の 145 経営体へと、10 年間で 49 経営体（51%）増加している。愛媛県全体でも同様に 5.0ha 未満の経営体は減少しているが、5.0ha 以上の経営体数は、平成 22 年（2010 年）の 334 経営体から令和 2 年（2020 年）の 482 経営体へと、148 経営（44%）増加している。

経営規模別の割合の推移をみると、経営規模 1.0～5.0ha の経営体割合は 48%（2020 年）で、愛媛県全体（35%）に比べて高く、その割合は拡大傾向となっている。

（表 4.10、図 4.12、図 4.13、図 4.14 参照）

表 4.10 経営規模別経営体数の推移（関係市町、愛媛県）

（単位：経営体）

(単位：経営体)												
年	市町名	農業経営体数の計										1.0～ 5.0ha
			5.0ha未満					5.0ha以上				
			1.0ha 未満	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0		5.0～ 10.0	10.0～ 20.0	20.0 以上		
2010年 (平成22年)	宇和島市	2,622	2,600	1,269	757	404	170	22	19	1	2	1,331
	八幡浜市	1,918	1,911	867	532	339	173	7	7	-	-	1,044
	西予市	2,944	2,882	1,834	709	223	116	62	40	19	3	1,048
	伊方町	1,066	1,061	672	262	83	44	5	3	2	-	389
	関係市町合計	8,550	8,454	4,642	2,260	1,049	503	96	69	22	5	3,812
	構成割合	(100%)	(99%)	(54%)	(27%)	(12%)	(6%)	(1%)	(1%)	(0%)	(0%)	(45%)
	愛媛県	33,177	32,843	21,529	7,833	2,378	1,103	334	234	71	29	11,314
構成割合	(100%)	(99%)	(65%)	(24%)	(7%)	(3%)	(1%)	(1%)	(0%)	(0%)	(34%)	
2015年 (平成27年)	宇和島市	2,201	2,173	1,016	634	353	170	28	23	4	1	1,157
	八幡浜市	1,690	1,679	716	482	304	177	11	10	1	-	963
	西予市	2,435	2,360	1,469	586	201	104	75	48	24	3	891
	伊方町	862	856	536	214	63	43	6	4	2	-	320
	関係市町合計	7,188	7,068	3,737	1,916	921	494	120	85	31	4	3,331
	構成割合	(100%)	(98%)	(52%)	(27%)	(13%)	(6%)	(2%)	(2%)	(0%)	(0%)	(46%)
	愛媛県	26,988	26,592	17,186	6,398	1,961	1,047	396	264	98	34	9,406
構成割合	(100%)	(99%)	(64%)	(24%)	(7%)	(4%)	(1%)	(1%)	(0%)	(0%)	(35%)	
2020年 (令和2年)	宇和島市	1,909	1,873	864	530	346	133	36	30	4	2	1,009
	八幡浜市	1,446	1,433	577	426	265	165	13	11	2	-	856
	西予市	1,891	1,802	1,079	483	156	84	89	56	25	8	723
	伊方町	694	687	425	177	52	33	7	5	2	-	262
	関係市町合計	5,940	5,795	2,945	1,616	819	415	145	102	33	10	2,850
	構成割合	(100%)	(98%)	(50%)	(27%)	(14%)	(7%)	(2%)	(2%)	(0%)	(0%)	(48%)
	愛媛県	21,734	21,252	13,565	5,088	1,692	907	482	323	102	57	7,687
構成割合	(100%)	(98%)	(63%)	(23%)	(8%)	(4%)	(2%)	(2%)	(0%)	(0%)	(35%)	
2010年 との差	関係市町合計	▲ 2,610	▲ 2,659	▲ 1,697	▲ 644	▲ 230	▲ 88	49	33	11	5	▲ 962
	愛媛県	▲ 11,443	▲ 11,591	▲ 7,964	▲ 2,745	▲ 686	▲ 196	148	89	31	28	▲ 3,627
2010年を100 とした指数 (2015年)	関係市町合計	84	84	81	85	88	98	125	123	141	80	87
	愛媛県	81	81	80	82	82	95	119	113	138	117	83
2010年を100 とした指数 (2020年)	関係市町合計	69	69	63	72	78	83	151	148	150	200	75
	愛媛県	66	65	63	65	71	82	144	138	144	197	68

※ 1. 2010年(平成22年)世界農林業センサス、2015年(平成27年)農林業センサス、2020年(令和2年)農林業センサス

2. 関係市町合計及び愛媛県の構成割合は、四捨五入の関係から合計、小計が合うよう端数調整を行っている。

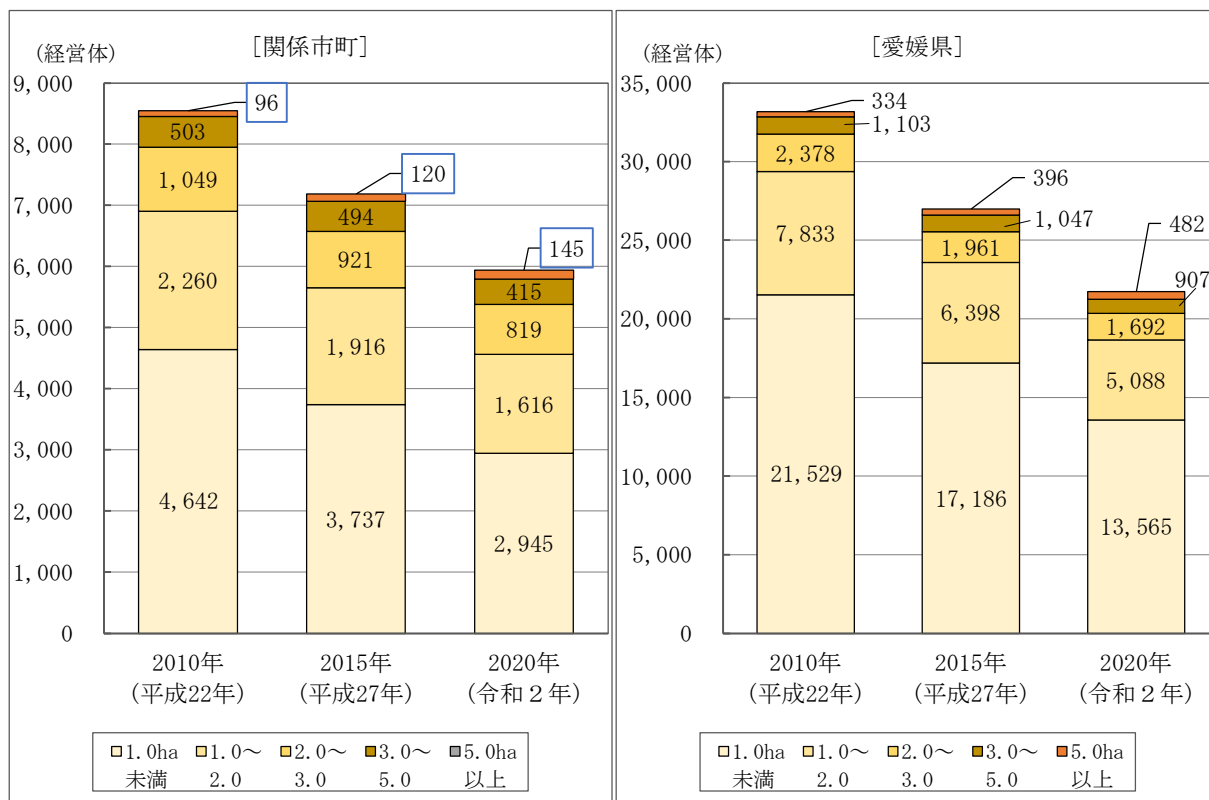


図 4.12 経営規模別経営体数の推移（関係市町、愛媛県）

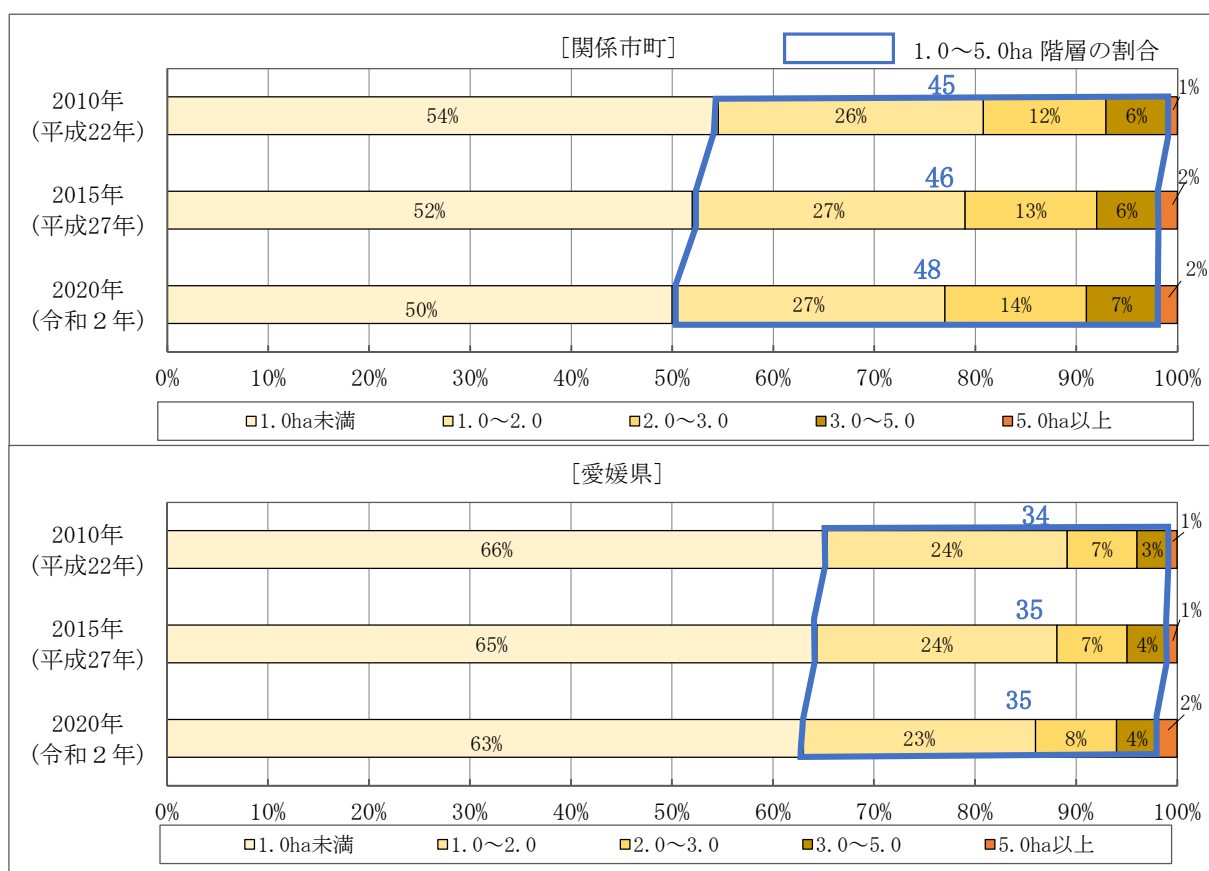


図 4.13 経営規模別経営体数の割合（関係市町、愛媛県）

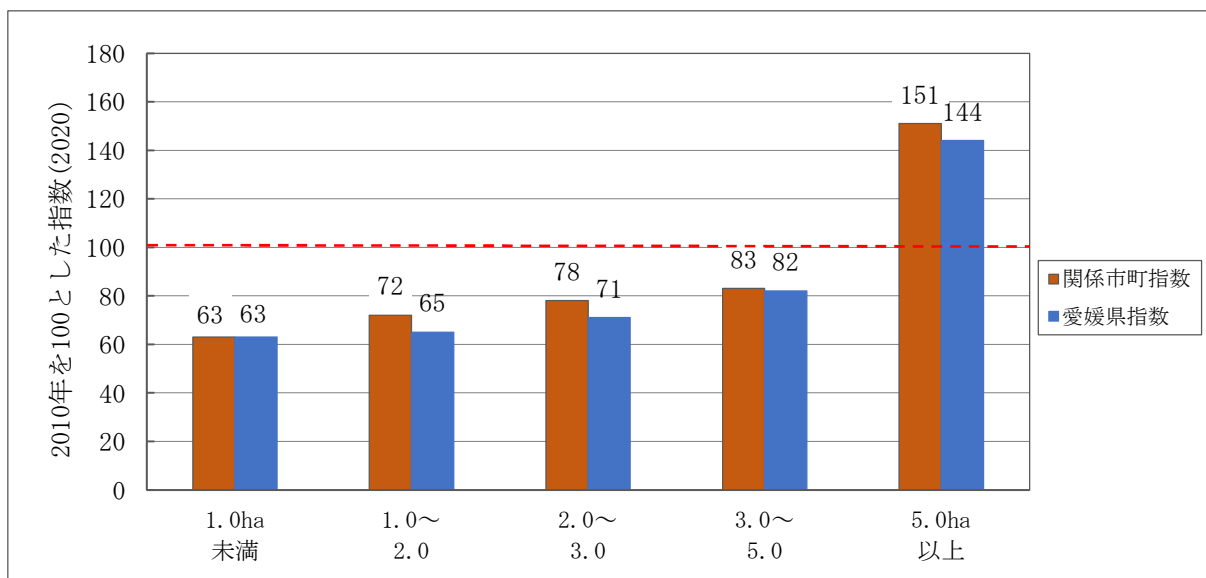


図 4.14 経営規模別経営体数の推移（関係市町、愛媛県）

関係市町における経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率をみると、平成 22 年から平成 27 年の 5 年間で、また平成 22 年から令和 2 年の 10 年間で経営耕地面積 5 ha 未満の経営体が減少、5 ha 以上の経営体で増加傾向となっている。また、20ha 以上は一時的に減少したものの、平成 22 年から令和 2 年で 2 倍になっている。（図 4.15 参照）

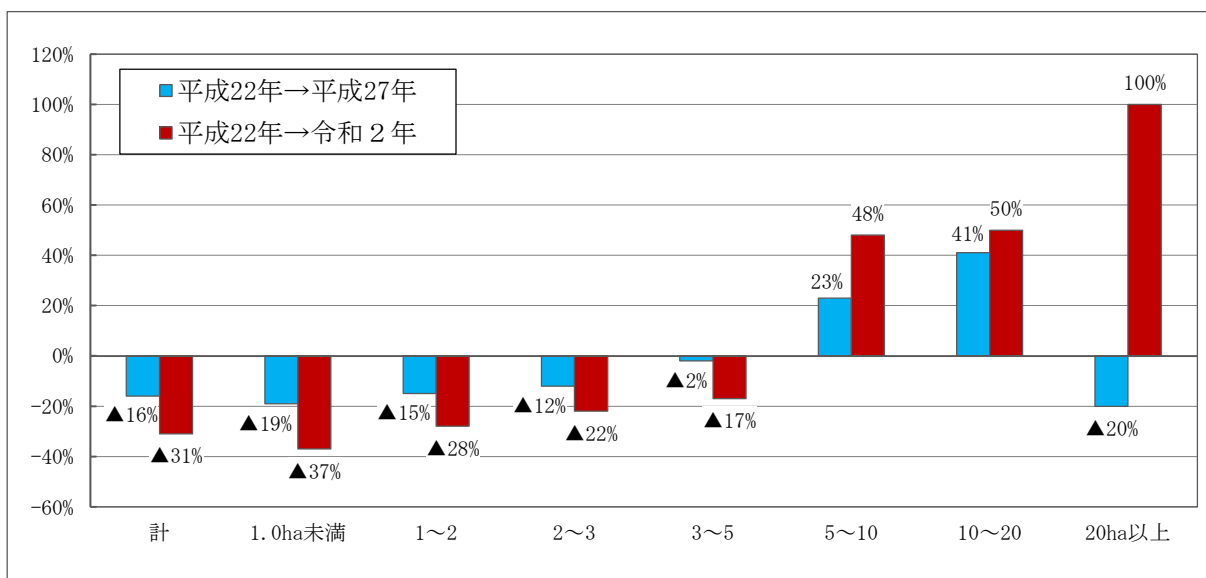


図 4.15 関係市町における経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率
(2020 年/2010 年、2015 年/2010 年)